

青少年は
地域社会から
はぐくむ
～愛のひと声運動～



発刊
福島市青少年センター
福島市青少年センター補導委員会
福島市宮下町1番15号
TEL 535-7310
FAX 535-7310

～青少年健全育成のために～ 街頭補導活動を実施しています

福島市長から委嘱された補導委員114名が、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことを目的として、学校や駅前周辺などを中心に巡回活動を行っています。
青少年を見守り、健やかに成長できるように思いやりをもって「愛のひと声」をかけています。

通 常補導活動

学校周辺のほか福島駅前の娯楽施設やアオウゼ、こむこむなど学校帰りに子どもたちが集まりそうなところを重点的に巡回しています。道行く子どもたちに「気をつけて帰るんだよ」など愛のひと声をかけています。



愛のひと声運動

夜間には自転車の灯火指導も行っています。

自分への戒め

福島市青少年センター
補導委員会

会長 佐藤 達哉



「人を思いやり敬います」
「こんにちは」「どうぞ」「ありがとう」を言います
「勉強に励み体を鍛えます」
「人として恥ずかしい行いをしません」

これは2～3年前、研修会で喜多方市にお邪魔した際にいただいた1枚のカードに書かれていた文です。最後は、「喜多方を誇り社会に役立ちます」と続き「わたくしたちはくじけない強い心を持って目標に向かってやり抜きます」と結んであります。主題が「なかよくとくましく生きる」。副題が「児童生徒が目指す姿」となっています。

最初にこれを見たときの感動を今でも思い出します。「子どもたちを何としても立派に育て上げるぞ」という大人たちの決心、覚悟的なものが伝わってきました。そしてその裏側にある強烈な子どもたちへの愛情が感じられたからです。

無論、青少年健全育成という観点からはどこの市町村でも似たような目標を掲げ、似たようなカードを作っているのかもしれませんが、たまたま訪れた地で、研修資料に隠れるようにしていた、クレジットカード程の大きさのそのカードは、私にとっては研修内容以上に濃いものとして心に残りました。

ひるがえってわれわれ大人は、そのカードに記載されている内容に恥じない行動をしてるでしょうか。その内容を忘れてしまっていないでしょうか。「人を敬って」いるでしょうか。「人として恥ずかしい行動」をしてないでしょうか。

そのカードは自分への戒めとして、今も私の財布に挟めてあります。

環 境浄化活動

青少年の目に触れさせたくない成人向け雑誌などを回収するため、福島駅など市内6か所に白ポストを設置し、定期的に回収・処分を行っています。青少年健全育成のための環境を整えることも補導委員の活動の一つです。



白ポストの回収

特 別補導活動

お祭りやイベントの際に会場周辺の巡回を行います。

今年度は、「花火大会」・「わらじ祭り」・「福島稻荷神社秋の例大祭」の時に補導活動を行いました。露店の陰や、暗がりでは不健全な状況はないか？子どもたちに声をかけながらの補導活動です。

警察官・PTA・教職員など、様々な立場の方々が子どもたちの安全のため活動していることを再確認し、我々もその一助となればという気持ちで頑張っています。



稲荷神社秋の例大祭

視察研修を実施しました

中央地区補導委員 半澤 イミニ

令和7年10月7日原町生涯学習センターで福島県青少年育成県民会議大人への応援講座講師の根本雅昭氏による「青少年を取り巻くSNSでのトラブル等の現状と対策」を演題とした研修会が開催され、補導委員18名が出席しました。

研修では福島県におけるサイバー犯罪の検挙数、サイバー犯罪等に関する相談件数の推移が示されSNSを通じた被害が決して他人事でない状況が報告されました。

特に印象に残ったのは10代のネット依存の割合が年々高まっているという点です。スマートフォンやSNSは友人とのつながりの情報収集に欠かせない一方、長時間利用や不適切なやり取りが生活の乱れやトラブルにつながる可能性があることが指摘されました。研修ではこうした問題への対策として青少年自身に正しい知識を身につけることや相談しやすい環境をつくること、周囲の継続的な見守りと関わりが不可欠であると改めて感じました。

次に南相馬市少年指導員より活動報告があり、早朝街頭指導であいつ声掛け、子ども向けイベントで啓発など積極的に青少年健全育成及び



県連絡協議会補導員研修会へ参加

非行防止に取り組んでいるとのことでした。未来ある青少年一人ひとりに「愛のひと声」をかけながら!!

補導委員会方部懇談会参加報告

松川方部補導委員 歌川 正

令和7年度補導委員会方部懇談会は、松川支所にて補導委員会役員7名、松川方部補導委員3名、飯野方部補導委員2名が参加し開催されました。第1部には学校に関係する松川方部民生児童委員の12名に参加いただきました。冒頭、会長と松川支所長から、市内初の義務教育学校長による講演や委員会活動の現状、情報交換を今後の活動に活かしてほし

いとの挨拶がありました。

第1部では福島市立松陵義務教育学校長・小林将路氏が「義務教育学校の開校と松川の子どもたちを取り巻く環境について」と題し講演。学校概要や開校後の様子を紹介し、松川4地区の小学校と松陵中学校が統合し9学年制で約800名の児童生徒、約80名の職員で構成されていること、2期制や縦割り総合学習など独自の教育活動などが子どもたちの成長に繋がっていることが説明されました。バス通学や熊の出没など課題もありますが、地域の協力もあり運営は順調とのこと。学校のイメージが変わり、子どもの成長や将来が楽しみになる内容でした。

第2部では中央地区・松川方部・県内の補導活動の現状と課題について



補導活動に関する意見交換を実施

て事例紹介と意見交換が行われました。少子化や、熊の出没による登下校の送迎、外出自粛などから外での活動の減少もあり、見える非行は減っています。一方、インターネットゲームやスマートフォンの普及で非行や問題行動が見えにくくなっていく現状も共有されました。子どもを取り巻く環境変化の中、情報化社会に対応した補導活動の在り方を模索し推進する必要性を強く感じました。

市青少年健全育成 功労表彰受賞

福島市青少年健全育成推進大会で行われた表彰式で、補導委員4名の方が表彰されました。

- 東谷 良一(中央)
- 横山 忠則(信夫)
- 半澤 浩子(信夫)
- 渡邊 貢(信夫)

県青少年健全育成 県民会議表彰受賞

福島県青少年健全育成推進大会の席上、県青少年健全育成県民会議表彰として左記の補導委員が表彰されました。

- 菱沼 喜雄(飯坂)